

原発事故の記憶が風化するなか
子連れで福島から避難した母親たちが今
困難に直面している。
これは被害者や弱者を見捨てる国の元で暮らす
私たち自身の問題でもある。



南御堂シアター 第113回
南御堂ヒューマン・フォーラム

原子力問題に学ぶ 自主上映会

ふたつの故郷を生きる

2018年制作 / 上映時間 65分

期日:2020年2月6日(木)

午後6時上映(午後5時半開場)

上映会 兼 監督講演会
※アフタートーク

入場料:無料

会場:難波別院同朋会館(南御堂)講堂

監督 中川あゆみ氏



社会の周縁に暮らすマイノリティの生き様やアートを主な関心事に、テレビドキュメンタリーを中心に製作してきた。中国の移動養蜂家、バルカン半島を旅するロマの楽団、タンザニアの農民音楽、アマゾン移動法廷船、脱北1.5世の子供たちなどを取材。日本のセクシャル・マイノリティ1000人のカミングアウトを追った作品は、ATP奨励賞、Sunny Side of the Docs(仏)「Best Asian Project」を受賞。311後は被災地取材を行い、今作は2015年から取材を始め完成させた。

お問い合わせ

原発に依存しない社会の実現を目指す委員会
真宗大谷派 大阪教務所
共催:真宗大谷派 難波別院

TEL:06-6251-4720

Eメール:osaka@higashihonganji.or.jp



作品紹介

福島原発事故から9年目を迎えた今、子どもの健康を守るため母子避難した女性たちが、新たな困難に直面している。2017年3月、区域外避難者への住宅提供が打ち切られ、母親たちは経済的、精神的に困窮。自死する女性までが現れた。

作品は、都内で避難生活続ける母子と、1人ひとりに親身に向き合う支援者たち、そして政府に政策改善を迫り、粘り強く行動する女性たちの姿を追った。



スタッフ

監督・撮影・編集
撮影
音楽
プロデューサー
制作協力

中川あゆみ
辻中伸次 松井 至
黄 衍仁 ジンタラムータ
平野まゆ
避難の協同センター

会場アクセス

大阪メロ 御堂筋線「本町」
D階段 ⑧号出口より
南へ200m

または

大阪メロ 中央線「本町」
I階段 ⑬号出口より
南へ50m

